

ココロにプラス、
ときめく日々を。

haru+

はるたす



このまちは、居心地が良い。
このまちには、居場所がある。
おだやかな緑と水辺。
日常に溶け込んでいるアート。
はつらつとした笑顔。
この地で生まれた、おいしいもの。
なにげない日々の中にある、
心がときめく瞬間。
「プラス」が見つかるこのまちで、
輝く人々に、新しい自分に、
出会いに行こう。



CONTENTS

目次・プロローグ	2
巻頭インタビュー	4
かすかべ親善大使 井田寛子さん	
かすかべの、一日。	6
ここに在るから、輝ける。…… 10	
ダンサー・映像作家 酒井直之さん	
ダンサー・振付家 中村駿さん	
このまちで、「好き」を仕事に。…… 12	
イラストレーター halさん	
食と農から、広がるつながり。…… 14	
観光農園園主 野口文夫さん	
食べることは、生きること。…… 16	
シェフ 上野剛さん	
このまちを選んで良かった。…… 18	
春日部市移住者の方々	
星川さんご家族	
石丸さんご家族	
中井さんご家族	
だから、住みやすい。…… 20	
KASUKABE FACT	
あなたにとっての+1は? …… 22	
おいしいプラス KASUKABE KITCHEN …… 23	
青ノバイヤと豚バラの	
アーリオ・オーリオ スパゲッティ	
プレゼント付き読者アンケート	裏表紙

かすかべ親善大使

井田寛子さん

- Hiroko IDA -



春日部市での
子ども時代について
教えてください。

私は増戸地区に実家があり、平地に田んぼと畑が広がるのどかな場所で育ちました。子どもの頃から生き物が大好きで、よく、小学校の通学路でカエルをたくさん捕まえては、ポケットに詰め込んでうちに帰っていました。近所でホタルをみつけることや、セミやク

ワガタムシを捕りにいくこともしばしばありました。自然科学に興味を持った原点はそんな体験だったと思います。昆虫の仕組みや構造が気になって「この虫はどうしてこんな形なんだろう?」と熱心に観察したり、科学番組を夢中で見たりしていました。

気象予報士としてのキャリアをスタートしてからは、静岡県など、関東地方以外の地域でも仕事をさせていただきました。そんな中で、改めて自分が生まれ育った場所の特徴に気づきました。関東平野の地形は全国的にも特殊で、開けているので遠くまで見渡せ、雲の動きや西から天気が見える。移り変わっていく様子もわかります。どこまでも続く広い空や美しい夕日などの情景が見られるのは、こうした地形ならではです。私は現在、都内を拠点としていますが、春日部市に戻ってくると、自分の子ども時代から変わらない開放的な空と田んぼの風景に心いやす

子育てをする
まちとして、

春日部市は
いかがでしょうか?

すごく良いと思います。東京から車で40分程度とアクセスが良く、便利な生活環境であるにもかかわらず、原っぱや公園が多く子どもの頃から日常的に自然にふれます。私の子どもたちも、いつも実家近くの公園で虫を捕まったり、田んぼでわたまじやくしを観察していますよ。内牧公園をはじめ、立派なアスレチックやバーベキュー

ママになって 再発見した、 春日部市の魅力

広場を備えた大きな公園もあるので、家族連れにも良いですね。雨の日も屋内で楽しめる場所があり助かります。わが家は「エンゼル・ドーム」をよく訪れますが、広々とした室内で思い切り遊べるのでオススメです。また、気象予報士として多くの災害報道に携わってきた経験から、春日部市の安全な環境にも魅力を感じています。「地下神殿」としても有名な「首都圏外郭放水路」が完成して以来、河川の多いまちであるにもかかわらず水害にも強くなりました。どんどん住み良い



PROFILE

気象予報士。NHK『ニュースウオッチ9』やTBS『あさチャン!』等に出演。現在はラジオや講演等でも活躍し、仕事の幅を広げている。また、東京大学大学院に在籍。一般の方に向けて気候変動や温暖化について発信したいと、日々の研究の中で知識を深めている。さらに、2女の母として子育てに奮闘中。

まちになっていて、嬉しいです。親善大使に就任してからは、大風マリンで市民の方と一緒に走ったり、ふれあいキューブで防災関連の講演をしたりと、様々な活動をさせていただいています。また、私は食育が趣味で、子どもの頃から春日部市の梨が大好きなのですが、親善大使としての活動をはじめから、地元の赤米を使用した「ドーナツ」や「地ビール」等、まちのおいしいものと新たにたくさん出会いました。多くの人に、春日部市の多様な魅力や住み良さを知ってほしいです。



🕒 15:00

午後の図書館で勉強

市内には3つの図書館があります。落ち着いた環境の中で静かに読書や勉強をすることができます。



🕒 14:00

昼下がりの街中で、彫刻を発見

市内には、いたるところに街中彫刻があります。生活の中で身近に芸術にふれることができ、ちょっとした外出や散策も楽しめます。



🕒 8:00

古利根川沿いを散歩

河川に恵まれた春日部市内。水辺の景色を楽しみながら散歩やサイクリングをできるスポットが数多くあります。



🕒 6:00

多くの人が行き交う、朝の春日部駅

東武伊勢崎線(スカイツリーライン)、東武野田線(アーバンパークライン)が交差する接続駅です。通勤・通学者をはじめ、たくさんの人が利用します。

かすかべの、一日。 week day 🕒



🕒 17:00

駅周辺で夕飯の買い出し

市内には駅周辺を中心に多くの商店街があり、様々な店舗が立ち並びます。春日部駅にはイトーヨーカドー春日部店等のスーパーも。車がなくても普段の買い物に便利です。



🕒 16:00

身近な緑、くつろげる生活を彩るスポットが日々の暮らしを楽しめる、

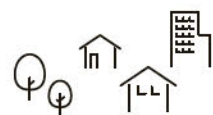
場所、にぎわう空間など、数多くある春日部市。まちの一日を見てみましょう。



🕒 19:00

帰路の人々を迎える、まちの灯り

夜になると、家々やお店の灯りがまち全体を包み込みます。学校や仕事から帰ってくる人々を温かく迎えます。



放課後に公園で遊ぶ子どもたち

市内には大小様々な公園があり、身近な場所で体を動かして遊べます。小さな子どもがいる家庭も安心です。



🕒 10:00

「エンゼル・ドーム」に集う親子たち

親子に大人気の児童センター、「エンゼル・ドーム」。屋内には広々としたプレイルームがあり、思い切り遊べます。親子でイベントを楽しむことも。市内には、ほかにも2つの児童センターがあります。



🕒 12:00

給食を食べる子どもたち

学校給食には地元野菜が豊富に使われており、お米は100%春日部産。栄養満点でおいしい給食は評価も高く「彩の国学校給食研究大会(学校給食調理コンクール表彰式)」で表彰されました。





ショッピングモールで 買い物

ララガーデン春日部やイオン
モール春日部等の大型商業施
設があり、市内外から多くの
人が訪れ、ショッピングや映画鑑
賞等を楽しんでいます。



街中のカフェで、ひと休み

市内にはゆったりとくつろげるオシャ
レなカフェがたくさん。地場産の素材
にこだわった店舗も多く地元の恵み
を楽しめます。



地元の新鮮野菜が並ぶ、 道の駅「庄和」

地元生産者による旬の野菜がずらりと
並ぶ、道の駅「庄和」の直売所。施設内
には飲食店もあり、休日のお出かけス
ポットとしてもにぎわいます。



かすかべ

holi day



市内果樹園で梨狩り

市内には果物狩りを楽しめる果樹
園が数多くあります。夏から秋にか
けては梨狩りをする事ができ、市
内外の人々が訪れます。



帰り道にみつけた、 蔵造りの建物

江戸時代、日光道中第四の
宿場「粕壁宿」として栄えた
春日部市。蔵造りの建物、道
しるべなど街道沿いの商店
には今も面影が残ります。



夕暮れ時の古利根公園橋

古利根川に架かる橋上公園。市民やサイクリストに親しまれています。
夕焼けやライトアップのフォトジェニックな光景も見どころです。

公園や水辺では、アウトドアや
街中では、ショッピングやグルメ
家族で、友人と、お一人で…

スポーツなどでアクティブに。
散策を楽しみつつゆったりと。
休日にも様々な楽しみ方ができます。



家族で庄和総合公園へ

広々とした芝生広場や大きなアスレチックのある庄和総合公
園。休日になると、テントを広げてデイキャンプを楽しむ家族
や、遊具で遊ぶ子どもたちでにぎわいます。



※掲載施設については、新型コロナウイルス感染症の状況により臨時休館または一部サービスの停止を行っている場合があります。

ここに
いるから、
輝ける。

Interview 01

ダンサー・映像作家
酒井直之さん(左)
Naoyuki SAKAI
ダンサー・振付家
中村駿さん(右)
Shun NAKAMURA

2020年「グローバル・ダンス・コレクション」結成。ダンスや音楽など、芸術鑑賞の機会創出やまちづくりに取り組む。市内団体・店舗の協力のもと、動画「おかえりかすかべ音頭」を制作。注目を集めている。



「おかえり
かすかべ音頭」
YouTubeで
公開中!

「おかえりかすかべ音頭」
制作の経緯を教えてください。

酒井さん…僕たちは二人とも春日部市育ちで、子どもの頃は同じ幼稚園・小学校に通っていました。共同で活動しはじめたのは大人になってから。とあるダンスのコンペティション会場で出会ったことを機に、一緒に活動するようになりました。「おかえりかすかべ音頭」のアイデアは、市内でダンス映像を撮っていた時のふとした会話から出てきたんです。

中村さん…「春日部市で何かやりたい」とはある？」と酒井さんが聞いてくれた。「春日部音頭」のように広く親しまれるものを、自分たちから発信できたら…」と話してみたら、そこから一気に

工芸の職人さん、家族や友人など多くの方に出演をお願いしました。快くご協力いただき感謝しています。市内の方々はもちろん、市外の友人からの反響も大きくてとても嬉しかったです。

ダンスの魅力や
今後の目標を教えてください。

中村さん…僕にとってダンスはコミュニケーションの一つ。言葉を交わすよりも一緒に踊ることで、相手の気分やコンディションなど、様々なことがわかります。動画制作時は地元の方々にも踊っていただきました。みなさんいきいきしていて笑顔も素敵なので、ぜひ見てほ

みつけた、 プラス「好き」

感性を育む音楽のまち

春日部市では、大人から子どもまで多くの人が音楽活動をしています。プロとして活躍する、市内出身の音楽家の方も。「かすかべ音楽祭」をはじめとする音楽イベント、コンサート等も充実しており、まちの魅力の一つとなっています。





このまちで、
「好き」を仕事に。

Interview

02

イラストレーター
halさん

宮代町内の制作会社でデザイナーとして働きつつ、市内や近隣でイラストレーターとして活躍。本誌の表紙イラストを手掛ける。創作ユニット「言絵舎」を組み、イベント出店や企画・運営にも力を入れている。



halさんについて
詳しくは
こちらをチェック！

イラストレーターとしての活動を開始した経緯を教えてください。

私はかつて、都内のデザイン会社に勤めていました。退職してからは、結婚・出産を経て、ベビーマッサージの教室を開いたり、イラストの学校に通ったり。そんな時、県東部を中心に展開されている、起業支援講座に参加する機会がありました。「好きなこと・得意なことを生かして、月3万円の収入を目指すビジネスモデルをつくる」という趣旨の講座で、他の受講生と意見を出し合いながら自分のやりたいことを考えました。その過程でイラストを仕事にする道が開かれたんです。自分のそ

れまでを振り返ってみると、電話中にふとイラストを描いていた、挿絵入りのグッズをつくって人に渡していたりと、昔から描くことが大好きでしたから。初めて街中でイラストを描いた時のことは忘れられません。越谷市内の古民家を改装した施設でイベントがあり、そこで似顔絵やさんを出店しました。一組目のお客さんは春日部市から来た3人姉妹の女の子。私が描いた似顔絵をととても喜んでくれました。その日は1日中描き続けましたが、イベント終了後も「まだまだ描ける」と、パワーにあふれていて、自分のやりたいことは、やっぱりこれなんだと確信したことをよく覚えています。仕事の幅がどんどん広がって、現在は店舗のウィンドウアート等を手掛けることもあるんですよ。

市内での取組について、教えてください。

古利根公園橋と親水テラスで開催されている「桜咲くマルシェ」で似顔絵やさんを出店したり、一緒に活動している編集者の方と共同で、杉戸や粕壁を含む「日光道中二十」次のイラスト入り手ぬぐいを作成し、地域のおみやげとして販売したりと、市内や周辺地域の方々と手を組みながらイベント出店や創作・販売等を行っています。

イラストレーターとして地域に関わる中、ご縁がつながり、活動の範囲も広がっています。私は以前から本が好きで、まちの書店とコラボして何かしたいなと考えていたのですが、旧日光街

道に面した粕壁地区の本屋さんとなりがりで、昨年、店先で出店する機会をいただきました。イラスト入りの紙雑貨等を販売し、当日は多くの方が訪れてくれて嬉しかったです。また、近くの煎餅店やイタリアン・レストランの方々が「次回はぜひ、一緒に出店したい」と声をかけてくれて、それぞれのアイデアを持ち寄って企画し、現在はよりみちじかんという、ご近所を巻き込んだイベントに発展しています。出店の同日には、前述のお店でも限定商品や特別メニューが提供されていますよ。ぜひ、みなさんに来ていただきたいです。これからも、関わる人々と思い共有しながら、イラストや企画のアイデアを生かして、地域でやりたいことを実現していければと思います。

みつけた、 プラス「好き」

身近な芸術、街中彫刻

春日部市のまちかどで出会う様々なモチーフやポーズの彫刻たちは、「彫刻のある街づくり」として設置されたもの。公共施設付近や大通り沿いなど、いたるところで鑑賞できます。身近な場所で芸術にふれられ、自然と感性が育まれます。





食と農から、
広がるつながり。

Interview

03

観光農園店主
野口文夫さん
Fumio NOGUCHI

野口農園15代目。米づくりのほか、春日部在来大豆、野菜、果物等を栽培。体験型農園としてフルーツ狩りやピザづくり体験などを行う。レンタルスペースは地域の人々の憩いの場となっている。



野口農園の
ホームページは
こちらから
アクセス！



「野口農園」について
教えてください。

父から農園を継ぎ、農業に専念すると決めた時、これまで通り米や野菜をつくるだけではなく、新たな挑戦をしたいと考えるようになりました。そんな時、かつての同級生から頼まれてブルーベリーを栽培し始め、ブルーベリー狩りを行うようになったんです。それを機に体験型農園へと変化していき、人気なのは、ピザづくり体験です。ピーマンやトマトが嫌いな子どもも、自分の手でつくるピザに入っているものは、おいしそうに食べてくれます。体験を通じた変化やお客さんの喜んでる姿を見ると幸せだなと思います。

地域とのつながりを
教えてください。

昔なじみの煎餅店の方がピザ窯をつくってくれたり、冷蔵庫や鉄板を譲ってくれたり、たくさんの方の協力やアイデアによって成り立っています。日替わりで野菜たっぷりのランチを提供する「空と糸（※）」の長島さんは、うちで味噌づくりワークショップなどのイベントを開催しています。お店で出すお米もうちのものです。一緒に農園を盛り上げてくれます。ご出身は横浜で、現在も他市にお住まいですが、私をふくめ春日部市の地域の方とつながりができていく中で、市内にお店を開きました。

また、本格ドイツパンが人気の「ボーダーカフェ」で販売されている豆コロッケは、店主の中村さんと私が共同で開発しました。豆コロッケにはさむコロッケ（豆コロッケ）は、うちで育てている春日部在来大豆を使用しており、栄養価も高く非常にクリーミーでおいしいです。中村さんは春日部市でお店を始めたのですが、しばらくは他市に本店が移転していました。1年前にお店を移転させることになり、春日部市のご縁が残っていたこともあって戻ってきました。豆コロッケもそうですが、現地の食材を使って春日部を盛り上げようと考えています。

今後の展望は何ですか？

春日部市は、やりたいことに挑戦する人たちがたくさんいます。自分の好きなことをしながら、地域とのつながり

来ていただくお客さんからは「春日部市にこんな体験ができる場所があるなんて」とよく驚かれます。これからも楽しい体験を、より多くの方に届けていきたいですね。私がいろいろな企画を行うのは、今まで支えてくださった方々や地域への恩返しでもあります。今後この地で農業を営みつつ、食と農を通して春日部市を盛り上げられたらと思っています。

みつけた、
プラス「好き」

春日部ならではの逸品

様々な「こだわり」のもとに生み出された春日部ならではの優れた食品を、地域性や独自性等の観点から評価し、かすかべフードセレクションとして認定。野口農園の豆コロッケ（コロッケ）もそのひとつ。認定品は、市内の販売店や道の駅「庄和」、春日部情報発信館「ぶらっとかすかべ」などで購入できます。ぜひご賞味ください。

Kasukabe Food Selection



※ 現在はおむすびではなくお茶碗で提供しています。



食べることは、
生きること。

Interview

04



シェフ
上野剛さん
Tsuyoshi UENO

came came 30(かめかめさんまる)
シェフ。「食を中心に生きる」を掲げ、自然農法や地場産にこだわった素材を使い、身体にやさしい料理を提供。店名の由来は「食べる時は30回以上噛む」こと。



came came 30の
ホームページは
こちらから
アクセス！



came came 30 開店までの経緯を教えてください。

僕はもともとフレンチ・レストランのシェフでしたが、高齢者の食事を学びたくなり、介護食のレストランの戸を叩きました。そこで大きなカルチャーショックを受けたんです。食事には「おいしさ」や「温かさ」が求められて当然だと考えていましたが、介護食ではそれが後回しにされていると感じました。そんな状況を変え、高齢者に食で喜びを感じてほしいと、低温調理の肉など自分の経験を生かした料理を出してみたら「これは生なの？」「柔らかすぎる」と不評で残食も出てしまいました。自分の料理に自信があったので、大きな挫折でした。でも

原点は子どもの頃に出会った食の専門医の先生。生活習慣病だった母を「このままじゃダメだよ」と真剣に叱ってくださったんです。薬を処方して終わりではなく、人の健康に本気で向き合う姿に感動しました。僕もその先生のように、関わる人に対して良い意味で「おせっかい」でありたいと思っています。

食材を選ぶ際のこだわりを教えてください。

生産者の理念や考えを知り、思いをシェアすることです。身体にも環境にもやさしいものをつくろうと、試行錯誤

誤っている方がたくさんいらっしゃるんですよ。市内の養蜂場で蜂蜜を生産しているKasukaBeeの田中さんもその一人。非加熱・無添加で栄養豊富な蜂蜜づくりをされています。養蜂場を見学すると、蜜蜂の住みやすい環境をつくる工夫が盛りだくさんで驚きます。蜜蜂や蜂蜜のことを知ってほしいと、一般の方々に向けてワークショップも開催されています。努力の結晶である蜂蜜をぜひ使用させてほしいと、ケーキやスイーツに取り入れさせていただきます。「ストーリー」のある食材を使うことは、料理のモチベーションをより高め、地域を知ることにもつながります。これからも、生産者との縁を大切にしながら身体や環境にやさしい食を実現していきたいです。

みつけた、
プラス「好き」
Column

子どもの頃からの食育

食育に力を入れている春日部市。公立保育所では子どもたちが収穫体験をしたり農家の方々とふれあう機会があります。また、学校給食では地場産食材をふんだんに使用。食の大切さや楽しさを学びながら、作り手に感謝する気持ちが育まれます。



聞いてみよう、
春日部暮らしのこと

オンライン 移住相談窓口の お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、春日部市への移住をご検討いただいている方の中には春日部市に行きづらいと感じている方もいるのではないのでしょうか。そんな方々にも気軽に移住相談をしていたるように、オンライン移住相談窓口を開設しています。メールでの問い合わせの他、Webミーティングシステム(Zoom)を使った個別オンライン相談会も実施しています。春日部市での暮らしについての素朴な疑問や漠然とした不安を、市の担当者が直接お答えします。興味がある方はお気軽にお申し込みください。

市外の方で、
個別オンライン相談会に
参加した先着20組に

「市内共通商品券
1000円分」
プレゼント!!



こちらのページから
ぜひ、
お申し込みください!



みつけた、
プラス「好き」

いつもそばにいるから、できることがある 「三世代がつながるまち」を目指して

春日部市では、子育て世帯と子育て世帯を支援する親世帯をサポートするために、市内で近居もしくは同居するための住居を取得した世帯に対して、「ふれあい家族住宅購入奨励事業」を実施しています。そばにいるから、自然と気持ちが通じ合い笑顔と元気が広がっていく、そんな「三世代がつながるまち」を目指しています。



市公式
ホームページで
詳細をチェック!



春日部の充実した子育て環境

引っ越した当初は、よく春日部子育て支援センターにお世話になっていました。保育士さんや保健師さんに子育てについて相談にのってもらえたこともありがたかったですし、周りに親戚もおらず大人と話す機会が減ってしまっていたので、大人と話せる場があること自体がとても救いでした。

春日部市は商業施設も豊富ですし、数年前に保育園が一気に増えたので、ますます子育て家族が住みやすくなった印象があります。

中井さんご家族 NAKAI family

夫の崇徳さんと妻の仁香さん、6歳になる長女と3歳の長男の4人家族。崇徳さんの職場が春日部市内だったことをきっかけに4年程前にUターン移住。仁香さんは在宅にて事務のお仕事をされている。

このまちを選んで良かった。



便利な春日部で安心して子育てを

私の実家近くに住むという案も出ていたのですが、相談した職場の先輩方全員に、交通の便の整っていて生活のしやすい、春日部市をオススメされました。現在は春日部駅を起点に生活していますが、職場にも都心にも電車1本で行けるので非常に便利です。

娘の通っている保育園の雰囲気もすごく良いですし、近所の人たちも優しく接してくれて、地域が子育てを見守ってくれている感覚があります。都会過ぎず田舎過ぎず、春日部市は本当に丁度良いまちです。

星川さんご家族 HOSHIKAWA family

夫の潤典さんと妻の友美子さん、3歳の長女の3人家族。共働きで安心して子育てをするために、友美子さんの実家がある春日部市にUターン移住。転入時は「ふれあい家族住宅購入奨励事業」を活用。

のどかな環境で 広々とした理想の住まいを

夫婦ともに東京都足立区出身で、結婚した当初も東京に住んでいました。お互い車生活が好きで、車が2台おける広々とした駐車場つきの自宅を求めて春日部市に移住しました。しかしながら、夫の勤め先は東京なので、ほとんど在宅勤務とはいえ、アクセスの良さは移住を決める重要なポイントになりました。

春日部市は空が広いところが気に入っています。最近は娘も外に連れ出せる月齢になり、家族3人ゆったりと散歩を楽しんでいます。



石丸さんご家族 ISHIMARU family

夫の哲也さんと妻の静香さん、0歳の長女の3人家族。マイホームを探して2年前にUターン移住。哲也さんはコロナをきっかけに在宅勤務に。静香さんは移住を機に春日部市内に転職。

Interview

05

春日部市
移住者の方々
星川さんご家族
石丸さんご家族
中井さんご家族

子育て支援に特に力を入れている春日部市。都心への通勤圏であるにも関わらず、田園や河川が広がる水と緑の豊かなまちでもあります。そんな魅力あふれる春日部市に移住をされた、3つのご家族にお話をうかがいました。

不動産取引価格（取引面積1㎡あたり）
[2020年・住宅地]



出典: RESAS 地域経済分析システム

Q4 将来性や発展は？

春日部市では、より便利で安心な暮らしの実現に向けて、未来に向けたまちづくりが進んでいます。春日部駅周辺は鉄道の高架化が進められ、東西交通の円滑化や、中心市街地の活性化が図られます。また、北春日部駅周辺は、最先端技術を活用し、防犯・防災面で付加価値を高めたスマートシティによるまちづくりが始まります。子育て分野では、新たに複合型子育て支援施設「パレットやぎさき」が開設。病児保育にも対応の保育所や児童発達支援センターを包摂しており、子育て家庭を支える新たな拠点となっています。

Q5 医療環境や防犯・防災は？

市内には13の病院と128の診療所があります（令和4年2月1日現在）。地域の中核的医療機関「春日部市立医療センター」や「小児救急夜間診療所」等もあり、いざという時も安心の医療環境です。また、地域における防犯・防災意識が高く、防災訓練や通学路の見守り活動等が活発に行われています。さらに、世界最大級の規模と技術を誇る地下放水路「首都圏外郭放水路」は市内外で注目を集めています。

Q3 生活環境や地価は？

イオンモール春日部等の大型店舗やスーパー、飲食店が充実しており、普段の買い物や外食・テイクアウト等にとっても便利。ララガーデン春日部をはじめ駅周辺にも店舗が多く、車が無くても安心です。また、住宅購入に際しても土地価格は東武線沿線の近隣市と比較してお手頃となっています。生活コストをおさえたい若い世代・子育て世代や、マイホームを検討している人にもオススメです。

Q2 都心からのアクセスは？

市内には東武伊勢崎線（スカイツリーライン）、東武野田線（アーバンパークライン）が接続する春日部駅をはじめ、8つの駅があります。春日部駅から都心までは約36分でアクセス可能です。始発駅の北春日部駅からなら、都内まで座って通勤・通学できることも魅力。また市内には国道4号、16号が交差し、東北道や圏央道のICにも近く、車での移動も便利です。企業のリモートワーク導入が進み、東京から郊外への転出者が増えた今、改めて交通の利便性に注目が集まっています。



KASUKABE FACT

だから、
住みやすい。

都市と自然のほど良いバランスが魅力の春日部市。
交通アクセスにすぐれ、日々の暮らしも快適です。
まちが力を入れている取組や強み、データから、
春日部市の住み良さとメリットをみてみましょう。

Q1 春日部市はどんなまち？

春日部市は埼玉県東部に位置します。まちの面積は66km²、2022年2月1日現在の人口は、232,679人。首都圏の交通の要衝として、多くの人・モノが出会い、行き交う拠点となっています。音楽や芸術・文化を育む土壌、充実した教育環境も、市民が誇る魅力です。また、市内には大落古利根川や江戸川が流れ、水辺や緑の美しい景観が広がっています。都市的な環境と心やすらぐ自然のほど良いバランスも魅力となっており、ファミリー層の人気を集めています。

おいしさプラス KASUKABE KITCHEN

青パパイヤと豚バラの アーリオ・オーリオ スパゲッティ



材料(2人前) ————
 青パパイヤ(細切り)……60g
 豚バラスライス……80g
 ニンニク(みじん切り)……15g
 赤唐辛子……1本
 塩昆布……12g
 スパゲッティ……200g
 塩……適量
 胡椒……適量
 オリーブオイル……適量
 金胡麻……適量



作り方 ①4Lのお湯に塩30gを入れ、スパゲッティを茹でる ②フライパンにオリーブオイルをひき、塩・胡椒をした豚バラスライスを炒め火を入れる ③みじん切りのニンニクを入れ、色付き香りが立ったら、細切りにした青パパイヤと種をとった赤唐辛子を加え炒める ④茹で上がったスパゲッティと塩昆布をフライパンに入れ、合わせる ⑤味を整え、お皿に盛り、仕上げに金胡麻をふりかける。



青パパイヤは春日部市でも生産されており、地域の特産品となっています。9月中旬頃から、販売が開始されます。ぜひ、取り入れてみましょう。



レシピを教えてくれたのは…

イタリアン料理店 Sottotetto
立花 広之さん

イタリアン料理店「トラットリア バル ソットテット」オーナーシェフ。2013年に粕壁東で創業以来、地産地消をテーマにメニューを提供。市内の人々が自由に交流・意見交換する「いきなり懇親会」を店舗で開催したり、地域の生産者と市内の飲食店をつなぐ野菜配達「VegeBoon」を始めたりと積極的に活動中。



その他のレシピは >>>>
ホームページで公開中!



あなたにとっての **プラスワン** は?

「春日部が好き」をまちの内外に広げる「かすかべ+1サポーター」。
 春日部で体験した「ワクワク」を共有したり、新しいことを始めてみたい…
 そんなサポーターの方々に「+1(春日部の好きなところ)」をお聞きました!



春日部の
温かい人柄
が好き!

東武鉄道株式会社
春日部駅長
谷田 淳さん



春日部の
食
が好き!

包工店
大村 芳美さん



春日部の
夕焼け
が好き!

株式会社
おづつみ園
尾堤 宏さん

春日部の
活気あるところ
が好き!

東京ガス株式会社
エネルギー提案推進部
広域センター
難波 剛太さん



春日部の
子ども達
が好き!

ヴィクトリー
インターナショナルスクール
Kimmy先生



春日部の
人
が好き!

有限会社志村酒店
志村 美智子さん



春日部の
埼葛橋から
見える風景
が好き!

NPO法人かすかべ
三輪 祐子さん

春日部の
川沿いを歩く
人の姿
が好き!



株式会社
M3コンサルティング
竹内 美紀さん

春日部の
人
が好き!

幸せのgreen café
TETOTE
中村 徹子さん



春日部の
いま
が好き!

春日部木材株式会社
会田 朋子さん



春日部の
ちょうど良さ
が好き!

みどりスーパー
河内 みどりさん



春日部の
ほど良さ
が好き!

RUDIE'S
片柳 聡さん



春日部の
いま
が好き!

ナオナ
角丈 直美さん



春日部の
人
が好き!

株式会社ジェイコム
埼玉・東日本
越谷・春日部局
地域プロデューサー
山崎 菜摘さん



シティセールスサポーター
「かすかべ+1サポーター」を
募集しています。





プレゼント付き読者アンケート

「haru+」はいかがでしたか? ぜひ、ご意見・ご感想をお寄せください。webアンケートにご協力いただいた方には、イラストレーター halさんが描いた表紙イラストの画像データをプレゼント!



アンケートは
こちら!

